

瀬戸内市の旅

Journey of Setouchi City

うえてらさん 上寺山 よけいじ 餘慶寺

邑久町北島にある上寺山餘慶寺は、天平勝宝元（749）年に報恩大師によって開山された1270年以上の歴史があるお寺です。

隣接して豊原北島神社が鎮座し、平安時代から発展した神仏集合の姿を残しています。現在も、中国三十三観音霊場の二番札所となっております。地元では「上寺」の愛称



サクラの名所としても知られる餘慶寺

で親しまれています。

境内には、国指定重要文化財の本堂のほか、三重塔、鐘楼などの風格ある堂塔に加え、惠亮院、本乗院など6つの支院が現存しています。これらの数の多さは中国地方の中でも珍しく、県内屈指の大伽藍ともいえます。

また、「山陽花の寺二十四か寺」にも登録され、約100本のサクラをはじめ、ハスやスイレンなど、四季折々の花鳥風月が楽しめ、散策にもおすすめの場所です。



ハスの花（7～8月）

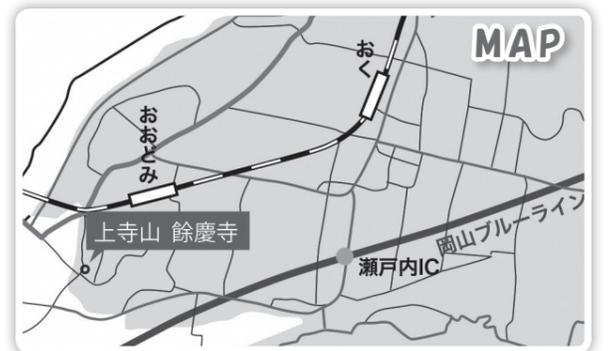
さらに、月2回、仏教や文化を学ぶ寺子屋も開催しています。

毎年12月30日から1月3日には行く年来る年に願いを込め、豊原北島神社の神様と餘慶寺の仏様の両方のおかげをいただける「両詣り」を実施しており、大勢の参詣者が訪れます。今年は新型コロナウイルスの影響により、好評の風船上げやお接待などのイベントは中止となりましたが、境内のライトアップや除夜の鐘撞きは行います。皆さんもぜひ参詣し、笑顔で新年を迎えませんか。

2021年が良い年になりますように。



願いを込めた風船上げ（本年度は中止）



利用のご案内

- ▷所在地 瀬戸内市邑久町北島 1187
 - ▷利用時間 午前8時～午後5時（午後5時で閉堂）
 - ▷駐車場 20台
- ※参詣の際は、マスクの着用、手指のアルコール消毒、人との適切な距離の確保などにご協力ください。
- ☎上寺山 餘慶寺 086-942-0186
HP <https://yokeiji.or.jp/>

瀬戸内発見伝

巻之百四十一

池田家を支えた伊木氏

意外と知られていない一族

江戸時代、備前（岡山県）の領主は、池田氏でした。その筆頭家老をしていた伊木氏の主な領地が瀬戸内市の虫明だったことをご存じですか。

伊木氏の領地は約3万石あり、大名並みでした。全国の大名家老クラスでも、なかなかこれだけの家はありません。実は、調べてみると、現在の私たちの生活にもつながる業績をたくさん残している一族なのです。

伊木家の初代忠次

戦国時代、香川長兵衛忠次は、「桶狭間の戦い」の頃、織田信長の家臣・池田恒興に仕えるようになりました。その後、信長の美濃（岐阜県）

の伊木山城攻めで功績を挙げ、信長から「伊木清兵衛忠次」と名乗るよう言われました。

信長の死後、羽柴（豊臣）秀吉と織田信雄・徳川家康が争った「小牧・長久手の戦い」では、羽柴方につくか織田・徳川方につくかで家中の意見

が分かれた時、羽柴方につくことを主張、その意見が取り入れられました。この戦いで、恒興と長男の元助が討ち死にしていきましたが、その後、次男の輝政に池田家の家督が渡るように秀吉を粘り強く説得したのは、忠次でした。

秀吉は、忠次を輝政の後見役に指名しました。この後、輝政は「関ヶ原の戦い」で手柄を立てました。恩賞として家康から「美濃がよいか播磨（兵庫県）がよいか」と尋ねられた時、「美濃」を推す多

くの家臣に対して、忠次はただ一人「播磨」を主張し、輝政はこの意見を取り入れました。

姫路城を築いた二代忠繁

現在、日本一観光客が訪れる城である姫路城を築いたのは、輝政です。

しかし、総奉行として、実際の姫路築城や姫路の町づくりの指揮を執ったのは、二代忠繁でした。さらに忠繁は三木城主として、三木の城下町を整備しました。

虫明領主となった三代忠貞

姫路城の城主は、輝政、長男の利隆、孫の光政と移り変わりました。しかし、徳川幕府は、光政が8歳と幼く、重要な姫路城主を任せられない

として、因幡・伯耆（鳥取県）に移封しました。それに伴い、三代忠貞も倉吉を領地にもらい、三木から移住。その後、光政はさらに備前に移封され、忠貞は虫明の領主となりました。

虫明焼中興の祖 十四代忠澄

幕末の頃の伊木家当主は、十四代忠澄でした。忠澄は、三猿齋とも名乗り、幕末の池田家の舵取りを見事にこなしました。

また、文化人としても大きな業績を残しました。その大きなものは、廃れかけていた「虫明焼」を再興したこと

です。さらには、和菓子屋の店主に、きびだんごをお茶席用に改良したらどうかと助言し、現在のきびだんごが出来上がりました。

瀬戸内市に残る伊木家の遺産

瀬戸内市には、伊木家の遺産がいくつか残っています。

まずは、千力山と長島に残る三代忠貞から十三代忠正の墓所です。家老の墓としてはとても立派で、市の指定重要文化財になっています。また、千力山のみもとにある伊木家の菩提寺である興禅寺には、歴代当主の位牌や八代当主忠福の木像があります。

最後に

終わりに、とっておきのお話。伊木氏の先祖の香川氏と「山鳥毛」の持ち主だった上杉謙信の先祖の長尾氏は、それぞれ先祖をたどると、鎌倉権五郎景政という人につながります。何かのご縁を感じませんか。



興禅寺の八代忠福の木像